中間報告書

令和　８年　９月　４日現在

1　事 業 名　**備中とと道の可能性を探るアウトドア事業**

2　実施期間　　令和　８年　４月　９日～令和　９年　３月　３１日

3　事業内容

① 事業の目的・概要

備中とと道の価値を次世代へ継承するために、訴求力のあるアウトドア・スポーツ（トレイルラン・トレニック・マラニック）を活用し備中とと道を訴求します。
さらに、様々なアウトドア・スポーツやレジャー、フィールドワークの活用により、備中とと道を継承できる若い世代の発掘と具体的な継承活動の可能性を探ります。

① 全国から参加者を誘致する「備中とと道トレニック」の開催
② 「笠岡－吹屋 備中とと道トレイルウォーク」開催の可能性を探る
③ 子どもも参加できるトレイルラン大会開催の可能性を探る
④ 地元行政との連携の可能性を探る
⑤ 地元教育機関との連携の可能性を探る
⑥ 地元企業との連携の可能性を探る

② 事業の流れ・進捗状況等

＜実施したこと＞

① 全国から参加者を誘致する「備中とと道トレニック」の開催
・実行委員会の設立と開催　／　・ルート選定　／　・大会概要の策定
・警察との協議　／　・後援申請とエイド施設使用許可申請
・地元への事業説明と協力依頼　／　・エイドでの提供メニューの検討
・ロゴマークやHP、チラシ、ポスターのデザイン
・協賛金募集の検討　／　・25歳以下のランナーが半額で参加できる仕組みを追加
・HPの公開とランナーの募集

② 「笠岡－吹屋 備中とと道トレイルウォーク」開催の可能性を探る
・4市町職員・関係者限定トレイルウォークの企画・準備
・4市町の窓口の開拓：笠岡(7)／矢掛(6)／井原(6)／高梁(4)

③ 子どもも参加できるトレイルラン大会開催の可能性を探る
・教育機関へ備中とと道の価値とその活用事例を訴求する冊子の取材

④ 地元行政との連携の可能性を探る
・4市町の窓口の開拓：笠岡(7)／矢掛(6)／井原(6)／高梁(4)

⑤ 地元教育機関との連携の可能性を探る
・倉敷芸術科学大学　／　・新見公立大学
・矢掛高校　／　・高梁市立宇治高等学校

⑥ 地元企業との連携の可能性を探る
・笠岡市：商工会議所・笠岡を元気にする会などとの連携
・矢掛町：宇内・角坂水害現場修繕作業（草刈り助成金の活用）の実施
（一社)矢掛町観光交流推進機構などとの連携
・井原市：美星観光協会・井原商工会議所・備中西商工会美星支所・中世夢が原・美星天文台などとの連携
・高梁市：吹屋観光協会・備北商工会・高梁商工会議所・元仲田邸・宇治地域市民センター（宇治公民館）・(一社)高梁市観光協会 吹屋支部などとの連携

＜今後、実施すること＞
① 全国から参加者を誘致する「備中とと道トレニック」の開催
・実行委員会の開催　／　・警察との協議　／　・宇内角坂の整備
・地元への事業説明と協力依頼　／　・エイドでの提供メニューの検討
・協賛金の募集　／　・HPの公開とランナーの募集　／　・エイドの運営計画
・コースGPXデータ公開　／　・ボランティアの募集　／　・運営マニュアルの作成
・コース整備　／　・大会の準備と開催　／　・アンケート調査
・ふりかえり　／　・決算書の作成　／　・報告書の作成

② 「笠岡－吹屋 備中とと道トレイルウォーク」開催の可能性を探る
・4市町職員・関係者限定トレイルウォーク参加者の募集
・4市町職員・関係者限定トレイルウォークの実施とフィードバック

③ 子どもも参加できるトレイルラン大会開催の可能性を探る
・キッズトレイルラン大会企画

④ 地元行政との連携の可能性を探る
・チラシやポスターを持って4市町の窓口の開拓

⑤ 地元教育機関との連携の可能性を探る
・吉備国際大学　／　・岡山県立大学　／　・くらしき作陽大学
・環太平洋大学　／　・ノートルダム清心女子大学　／　・岡山大学
・岡山学院大学など
・おかやま山陽高校　／　・岡山龍谷高等学校　／　・興譲館高等学校
・高梁市立成羽中学校　／　・井原市立美星中学校　／・矢掛町立矢掛中学校
・矢掛町立矢掛中学校
・高梁市立成羽小学校　・井原市立美星小学校　・矢掛町立小田小学校
・笠岡市立北川小学校　・笠岡市立大井小学校　・笠岡市立金浦小学校

⑥ 地元企業との連携の可能性を探る
・小口協賛金の募集と広告紙面の作成
・大口協賛金の募集と広告紙面の作成
・エイドを活用した広告の可能性を探る

③ これまでの成果･効果、今年度事業終了後の成果･効果の見込み

評価指標	評価方法	目標	実績
① 参加人数の達成度	試算に対する割合90%	630人	
② 4市町参加のウォーク	試算に対する割合50%	1回	
③ 4市町に1コース設定	試算に対する割合25%	1コース	
④ 自治体との連携件数	試算に対する割合100%	4市町	
⑤ 教育機関との連携件数	試算に対する割合10%	1高校・1大学参加	
⑥ 後援・協賛企業	試算に対する割合50%	30社	
⑦ 地域ボランティア参加者数	4市町×5名	20名	

④ 課題等

・備中とと道の訴求の重要性
・公立高校の関心の弱さ
・備中とと道のトレイルの維持

4 参考事項・資料

・収支（変更）予算書 ＋ ㈱イタダキ見積書
・資料－１：備中とと道トレイルラン 2027 チラシ・ポスター
・資料－２：4 市町職員・関係者限定トレイルウォークのチラシ案
・資料－３：協賛金募集のチラシ案（2 種）
・HP：https://totomichi-trailrun.com/

5 次年度以後の事業展開

次年度の事業展開	事業展開の方向性 （以下のチェック欄のいずれかに「✓」を記入してください。） ☐ 提案団体の自主事業として収益を得て継続・拡大していくことを目指す。 ☑ 地域づくり事業として事業を継続しつつ、次々年度の自主事業化へ備える。 ☐ その他（4 市町の連携＋倉敷市広域連携事業の可能性を探る）
	中期的な目標を実現させるための具体的な事業の内容 ① 全国から参加者を誘致する「備中とと道トレイルラン」の開催 ② 4市町による「笠岡－吹屋 備中とと道トレイルウォーク」開催 ③ キッズトレイルラン大会の併設 ④ 地元行政との連携による「備中とと道トレイルラン」の開催の可能性を探る ⑤ 地元教育機関によるESD教育のプラットホームとしての可能性を探る ⑥ 地元企業との連携の可能性を探る：冠レース／プラチナ／ゴールド協賛など